

ジオ通信(第9回)

大地を見る目を磨こう!

～めざせ! 筑波山地域ジオパーク～



ジオパークは、Geo=地球・大地、Park=公園を組み合わせた言葉で、“大地の公園”とも言い、地質遺産を見どころとした自然公園です。ジオパークでは大地の成り立ちを楽しみながら学べ、環境を保全しながら地質遺産を科学教育や防災教育、観光資源として活用することにより地域を活性化することができます。

現在、つくば市は、筑波山周辺の5市(石岡市、笠間市、桜川市、土浦市、かすみがうら市)とともに平成28年度の日本ジオパーク認定を目指して活動しています。

申・問 ジオパーク推進室 ☎「筑波山地域ジオパーク構想」で検索

筑波山地域のジオ話 ～ミカン栽培～

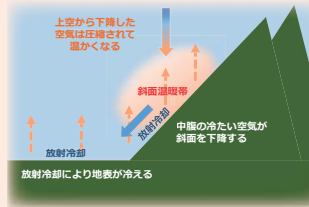
筑波山地域は果樹栽培が盛んで、ほぼ一年中果物を収穫することができる恵まれた地域です。夏はブルーベリー、秋にナシ、ブドウ、クリ、カキやミカン、冬から春にかけてはイチゴを楽しむことができます。

筑波山地域は、国内のミカン栽培の北限といわれていました。標高200～300メートルの筑波山中腹では、在来の福来ミカンや温州ミカンが盛んに栽培されています。一般に、低温に弱い果樹として知られるミカンが、



一見、山の麓より気温が低いと思われる中腹でなぜ栽培することができるのでしょうか。

その秘密は、冬の時期に気温と標高の関係が逆転する「斜面温暖帯」の存在だといわれています。よく晴れた日の夜間、放射冷却によって地表が冷やされます。中腹付近の冷たい空気が重くなり、斜面に沿って下降します。その



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
ナシ												
ブドウ												
クリ												
カキ												
イチゴ												
ブルーベリー												
ミカン												

中腹付近に上空の空気が下降し、圧縮されて温かくなります。こうした気温の逆転現象が、ミカンの栽培を可能にする一因というわけです。

ジオの恵みの背景を知ると、もっとジオについて学びたくなってきませんか。つくば市では、本地域のジオを学べるイベントやサイエンスカフェ(筑ジオカフェ)を定期的に開催していますので、気軽に参加してください。



「ウィキペディアタウン筑波山」を筑波山地域ジオパーク構想エリア内で開催! ワークショップ参加者募集

筑波山地域ジオパーク構想エリア内の見どころを歩いて、ジオガイドからジオに関する情報を収集し、ウィキペディア(インターネット上の事典)のページを執筆・編集するワークショップを開催します。街歩きで街の魅力を再発見したい方、ぜひご参加ください。

日時 4月24日(日)9:00～17:00

スケジュール ▷9:00筑波大学春日エリア集合▷バスで筑波山へ移動▷10:00～12:00現地調査▷バスで中央図書館へ移動(車中で昼食休憩)▷13:00～16:00ウィキペディア執筆・編集▷16:00～16:30成果発表▷17:00解散

定員 先着10人(高校生以上)

参加費 無料 ※昼食は各自用意

持ち物 筆記用具(必須) ※お持ちの方は、パソコン/タブレット、デジタルカメラ、モバイルルーターも

申込方法 住所、氏名(ふりがな)、生年月日、日中連絡の取れる☎を記入し、4月8日(金)までにFAX、Eメールまたは電話で

申・問 ジオパーク推進室 ☎029(868)7640 ☓geo298@info.tsukuba.ibaraki.jp